

木城町 議会だより IKAI

令和8年6月議会

No. 153

発行所: 宮崎県木城町議会

発行日: 令和8年8月17日

印刷: 株式会社 宮崎新生社印刷

もくじ

- ◆ 定数削減と報酬見直し 2~3
- ◆ 臨時会・定例会報告 4~6
- ◆ 一般質問(4名登壇)..... 7~10
- ◆ 議会活動報告 11
- ◆ まちの話題 12

議員定数「8人」へ削減決まる!

次の時代にふさわしい議会のカタチ
～定数削減にこめられた意図とは～

なぜ、減らすのか？

これまでの議論と決断を委員会の総意としてお伝えします。

■検討の背景と特別委員会の設置

地方自治を取り巻く環境が大きく変わる中、国において「町村議員報酬の適正化を促進するための決議」がされたことを機に、県内各議会で定数や報酬の議論が活発化しています。

本町議会でも、将来にわたり町民の皆さまの負託に応え、開かれた議会であり続けるため、令和7年9月に「議員報酬及び定数検討特別委員会」を設置し、約1年間にわたり慎重に議論を重ねてきました。

■「定数8人」への結論に至った3つの理由

議論を尽くした結果、特別委員会は現在の定数10人から「2人削減し、8人とする」ことが妥当であるとの結論に達しました。

1. 現在の活動実態（欠員状況）の直視 現在、本町議会は定数10人に対し、欠員が1人あり「9人体制」で活動していますが、実際の議会運営や住民対応に支障は出ていません。
2. 人口減少への適応と町民の意識 町全体の人口減少が進む中で、議会自らも身を切る改革を行うべきだと言う意見、また町民の皆さまからの削減を容認する声もあった背景があります。
3. 全国の類似自治体データとの比較 将来的に人口が3,000人台になると予想されている全国の類似自治体（63町村）を調査したところ、議員定数は7人～12人、平均は「9.63人」という結果が出ました。この数値を基準とし、本町の行財政改革の必要性も加味して「8人」という数値を導きだしました。

定数を8人に減らすことで、「行政監視能力や地域の将来を決定する力が縮小するのではないか」という懸念は確かに残ります。しかし議会としては、議員個々の活動密度をこれまで以上に高め、各常任委員会の調査・研究活動をさらに充実させることで、その懸念を払拭し、質の高い議論をしていく決意です。

なお、これ以上の削減は議会運営に支障をきたす可能性が高いため、8人が限界の適正数であると考えています。

実際の適用は、次期（令和9年4月）の町議会選挙からとなります。

多様な人材が参画できる議会へ

～議員報酬の見直しと深刻な「なり手不足」の解消へ～

■議員報酬の見直しの目的

現在、全国的に議員の「なり手不足」が大きな話題となっており、本町も例外ではありません。

本町の現在の議員報酬（月額211,000円）は昭和53年の基準（首長の30%）から長年改定されておらず、宮崎県平均（232,882円）や全国平均（241,871円）を下回っています。

これまで、28年間、報酬が改定されておらず、報酬等審議会も長年開かれていないため近年の物価上昇や賃金の引き上げなどの検討は必要だと認識しています。

さらにデータを見ると現在の報酬額は、一般的な労働者世帯の平均月収（337,532円）はおろか、新規卒者の初任給平均（228,500円）をも下回っているのが実態です。

地方分権が進み議員には高度な専門性と行政監視の重い責任が課せられているにもかかわらず、この報酬体系では、特に子育て世代や30～50代の現役層が、経済的な不安なく町政に参画することが極めて難しい環境にあります。

■特別委員会からの提言

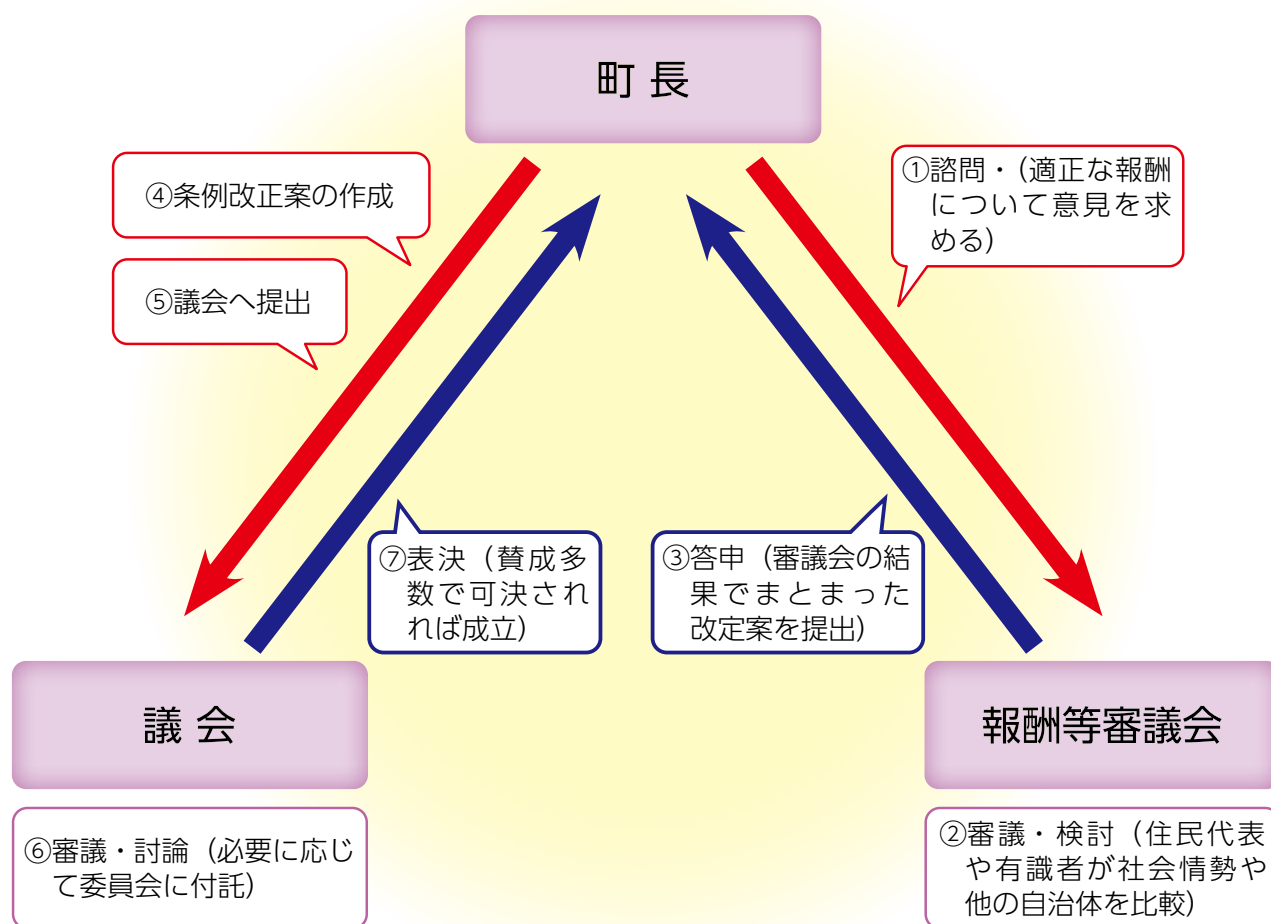
本町の議員報酬は、平成10年4月に改定されて以降、現在まで28年間改定されておられません。併せて、近年の物価高騰に伴い、消費者物価指数は、平成10年当時から比較すると大幅に上昇しています。このように、社会経済状況も変化する中で、現在の議員報酬額は物価上昇率に対応していない状況となっており、実質的な議員報酬額は以前よりもマイナスになっていると認識しています。

以上のことから、議員活動に専念できる環境づくりと多様な人材が議員になることができるような環境整備を進めるためにも、適正な議員報酬月額となるよう改定に向けた検討をお願いしました。

また、今後は決定プロセスの透明性を保つため、人事院勧告に連動させて社会情勢や経済情勢の変化を客観的に反映する仕組みの導入を提言します。

今回は、議会から町長へ「報酬等審議会開催の依頼文」を提出しましたが、一般的な手続きチャートを以下に示します。

議員報酬改定の手続きチャート



第2回 木城町議会 臨時会(4/30) 主な議決内容

旧江藤医院改修工事

テナント・展示・共用スペースなど、みなさんが過ごす交流の場に改修されます！



入札落札者:株式会社桑原建設
落札額:2億471万円(税込み)
(一部、交付金※1が充てられます)

災害対応自走式 大型トイレカー購入

これから設計が開始され、
今年度末までに納車されます！

入札落札者:株式会社武田ポンプ店
落札額:3千411万1千円(税込み)
(一部、交付金※1が充てられます)

※1 交付金とは・・・国が地方自治体などに対して、
法律や予算に基づき特定の目的のために配る
「返さなくてよいお金」のこと

第3回 木城町議会 定例会(6/5～11) 主な議決内容

[一般会計補正予算]

*木城学園体育館照明取替修繕工事
2,123,000円
LED照明3基取り替えます。

*コミュニティ助成事業補助金
2,300,000円
向河原住宅、立山住宅、向河原団地地区公民館分です。

*溜水田神線(広域農道)舗装修繕工事
3,500,000円
片側800mの舗装を修繕します。

*池田住宅解体工事
19,058,000円
池田住宅の3棟分の解体工事費です。



*公共交通費委託料

△1,698,000円
町営バス減便とそれに伴うバス停撤去費用によるものです。
(内訳) 町営バス減便 △1,731,000円
バス停撤去 33,000円

*小規模企業者経営支援補助金(2件)
5,000,000円

*木城温泉館「湯らら」エコキュート工事
3,355,000円
部品交換等の工事になります。4台あるエコキュートを年次的に1台ずつ実施していきます。

*交通安全施設工事費 15,311,000円
国民スポーツ大会に合わせて町道で区画線の見えづらい箇所を補修する工事費です。
(15箇所 8,110m)



【条例改正】

*木城町議会議員及び木城町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

公職選挙法施行令及び施行規則の改正に伴う、近年の物価変動や公費負担の増額による選挙運動のビラ作成費、ポスター作成費、掲示板作成費の公費負担の引き上げです。

*木城町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について

審議委員定数は、10名から6名に、審議委員の「その他の住民」枠は、「知識経験者」枠に変更しました。

*木城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

現在の「所得割」「資産割」「均等割」「平等割」の4方式から、「資産割」を除いた3方式+「子育て支援分」となりました。

◆可決した議案(全議案)

議案第30号 木城町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

議案第31号 木城町議会議員及び木城町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第32号 木城町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について

議案第33号 木城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第34号 令和8年度木城町一般会計補正予算（第2号）

議案第35号 令和8年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案第36号 令和8年度木城町介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第37号 令和8年度木城町簡易水道事業会計補正予算（第1号）

議案第38号 令和8年度木城町下水道事業会計補正予算（第1号）

議案第39号 令和7年度木城町一般会計歳計剰余金の処分について

議案第40号 辺地に係る総合整備計画の変更について

議案第41号 農業委員会委員の任命について
～第47号

発議第1号 木城町議会議員の定数条例の一部を改正する条例の制定について

議案等	議員名								結果
	矢野	荒川	久保	桑原	中武	後藤	甲斐	中竹	眞鍋
発議第1号 木城町議会議員の定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	○	一

(○:賛成、×:反対、除:除斥、一:議長は裁決には加わりません)

反対討論 久保 富士子 議員

人口減少を理由とした定数削減は、町民の多様な声を丁寧に受け止める議会の役割を弱める恐れがあります。基本条例が求める参考人制度や公聴会などの町民の聴取も行われておらず、町民の声や条例の趣旨を踏まえた十分な議論が必要です。議会の多様性と監視機能の確保には慎重な検討が求められます。

賛成討論 甲斐 政治 議員

定数削減案は町民の意見をきっかけに特別委員会で協議され、8名で十分可能と判断しました。基本条例等にも抵触していません。多様性は現状で確保されており、AIやIT機器の導入による効率化で活動の幅も広がると考えます。

第4回 木城町議会 臨時会(7/1) 主な議決内容

消防水槽付きポンプ車購入

消防団本部の車両の買替えです

落札者:株式会社武田ポンプ店
落札額:5千478万円(税込み)

高齢者補聴器購入補助金

申請数増加のため、予算が増額されます。



25万円(5件分)

自家用飲料水施設設置事業補助金

中之又水道施設の改修工事費です。維持管理もしやすくなります。



400万円(2件分)

第5弾

議員のプライベートを公開します。今回は眞鍋議員を紹介します。

眞鍋 博 議員

①趣味

スポーツ観戦、ドライブ

②尊敬する人物

両親、吉田松陰

今年5月に木城学園の生徒で結成された【吹奏楽・ダンス・神楽】の活動を行うクラブ(Kijo.Stars)が立ち上がりました。県内の方々より楽器などの寄贈を受け楽しく活動をしています。町民の皆さん、応援よろしくお願いします！





消防団員減少に伴い、部の再編は。

答 消防団編成検討委員会を設置する。

消防防災力の充実強化について

問 団員確保に向けた展開は。

答 町長

町の安心、安全、地域防災を担っている消防団である。消防団幹部と連携し、取組みを行っている。

答 総務財政課長

公式アプリ、個別訪問、消防フェスタ等広報活動をしている。

問 後方支援での団員OBの活用は。

答 総務財政課長

導入に向けての検討は必要で、協議を進める。

郷土の偉人について

問 郷土の偉人、石井十次、山口弘康、武者小路実篤の功績をどの様に継承するのか。

答 教育長

木城学園の社会科の副読本や社会教育で次世代に活用する取組みを進める。

問 教育とは別に社会一般に向けた取組みは。

答 町長

町民を対象にした手立ても必要。町内外で頑張っておられる方々にもスポットを当てていきたい。

NHK大河ドラマ

問 豊臣兄弟をいかに活用していくのか。

答 町長

町の歴史的な価値を町内外に発信し、イベントの計画もしている。

答 地域政策課長

全国にPRする絶好の機会と捉えている。

問 高城城址や根白坂の整備はすすめるのか。

答 町長

放映を機に整備を充実させ、町や県指定文化財にもつなげて検討したい。

答 教育長

文化財保存活用地域計画を策定して進めていきたい。

大学連携事業に対する 検証も必要

問 南九州大学とのmilky-misoの現状は。

答 産業振興課長

連携事業の中で開発された商品ではあるが、時の経過とともに需要がなく、製造、販売はされていない。

問 かしの実を使用した加工品の展開は。

答 町長

石河内、中之又の特産品として、アンテナショップ、物産展、ふるさと納税等多様な販路で売り出したい。

答 産業振興課長

かしの実こんにゃく、あんみつ、トッポギ風、ぜんざい等南九州大学で研究中である。今年のふるさとまつりでの振る舞い。作り方やアレンジの小冊子の作成も検討したい。

問 どこに原材料、供給依頼するのか。

答 産業振興課長

川原公園で収穫したい。石河内活性化センターと協議していく。

新たな源泉の発掘は

問 高鍋温泉の閉館を受け木城温泉館湯ららの今後は。

答 町長

高鍋温泉は湯量の減少と経営の悪化。木城温泉館湯ららは、26年が経過して、源泉の温度の問題もある。新たな源泉の発掘も考えなくてはならない。

問 配管の腐食などは見られないか。

答 地域政策課長

配管や、機器の故障等をみつけしだい修繕している。

問 健康増進、福祉の向上、産業、観光振興、地域の活性化に寄与し、安定した湯量温度をもって、安心営業ができる様に温泉源発掘が必要だと思う。今後の検討は。

答 町長

魅力探求プロジェクト事業の中で、温泉源についても検討してもらう。多額の費用がかかるので町単独では無理である。国の補助事業を受けられるように働きかけていきたい。



木城学園で使用しているタブレットの具体的な実績は！

答

思考力、判断力を育成するための学習と学園に通えない・通いづらい児童生徒がオンラインでの授業に参加できる。



特別支援学級の児童生徒の特性に応じたタブレットやICT機器の指導方法について

問 以前の一般質問で、認知機能強化のためのコグトレを活用していると答弁があったが、これらを含めたICT機器の活用が子供たちの学習意欲の向上や、自己肯定感の育みにどのような効果を与えているのか。

答 教育長

特別支援学級の児童生徒においても、タブレット端末を準備しながら授業を進めている。

本年6月からコグトレオンラインを活用し、認知的な学習に取り組み、支援する手段として有効であると捉えている。

問 タブレットを使用する上で、デジタルとアナログの最適な使い分けについて、学習のバランスをどのように定義して、授業を行っているのか。

答 教育長

漢字の書き取りや計算問題、ノート作りは、手で書くことにより記憶の定着や思考の整理に効果がある。引き続き指導をしていく。

デジタル学習は、情報収集や発表資料の制作など、その機器の特性を活かすことで学習効果が高まる場面では積極的に活用している。

問 木城学園におけるスマートフォンの持ち込みルールは、どのように策定しているのか。

答 教育長

学園の決まりで持ち込まないことになっている。

情報モラル教育について

問 全国的にもスマートフォンやSNSを悪用した犯罪が多発している。

木城学園として、こうした犯罪やトラブルから子供たちを守るため、情報モラル教育に取り組んでいるのか。

答 教育長

教育委員会や学校と連携しながら、児童生徒だけではなく家庭での指導や、子供たちのしつけが大事と思っている。

情報モラル教育については、外部講師を招いたり、学校で実態に併せて指導することを徹底していく。

問 いざトラブルが発生した場合、どのような対応や解決策があるのか、マニュアルは整備されているのか。

答 教育長

学園では、毎月実態調査を行っている。見つけた場合は即座に対応していく。マニュアルについても学校に準備している。

問 木城学園として、文部科学省が掲げる「生きる力」をどのように捉えているのか。

答 教育長

本町の教育大綱において、「生きる力」の趣旨を十分尊重して、地域と連携・協働しながら木城学園ならではの教育活動・義務教育学校の創造を目指している。

問 9年間というスパンを活かし、経済や金融の仕組みについて段階的に学べる授業は組み込めないか。

答 教育長

5年生では家庭科の授業で物やお金の使い方を学習し、6年生の社会科では税金の働きや社会を支える税の役割について学んでいる。

学習指導要領に基づき前期・後期課程で計画的に実施している。

問 タブレットによるシミュレーションソフトを使った投資の体験や、模擬会社を設立して起業家精神の育成の足がかりに学んでいくことはできないか。

答 教育長

職場体験学習や木城の事業所、県内外の事業所の方と語る学習機会を設けている。

その中で、起業家精神の育成につながると思っている。

問 本町の基幹産業である農業とキャリア教育について。

答 教育長

JAの方々との連携で稲作の体験や、地元の職場体験学習をしている。地域の特性を活かしたキャリア教育を推進していく。



町民が主体となる住民参加型の町づくりの必要性は。

答

住民が事業に参画する仕組みを整備していくこと。

旧江藤医院跡地の 庭園整備について

問 何度でもこの施設や庭園に足を運びたくなるような仕掛けや取り組みは。

答 総務財政課長

コンセプトは施設を取り囲むように、花と緑の魅力ある庭園づくり。一年を通した企画イベントの開催やテナントスペースと連動して集客を図りたい。

問 住民参加の仕組みづくりの考えは。

答 総務財政課長

地区説明会の実施やワークショップを含めた意見聴取の機会を設ける。

問 住民は石原和幸氏の講演会開催を望んでいるが今後の予定は。

答 総務財政課長

講演会、花作り講習会等の開催の日程調整を行う。

問 どのようなビジョンを持って、今後の住民参加の仕組みづくりを進めるのか。

答 町長

小さくてもキラリと光るまちづくりとスマートシュリンク※が町づくりの基本と考える。大事なことは、今回の事業も住民が自分事として捉え、参画してもらえよう整え、ストーリー性を大事にしながら整備していきたい。

問 住民参加のまちづくり推進協議会設置への考えは。

答 町長

やっていきたい。



現在、整備中の旧江藤医院

城山の景観整備について

問 高城合戦に関わる史跡について、木々の伐採など、見える化のための景観整備を行う考えは。

答 地域政策課長・教育長

民有地もあり、城山公園全体が埋蔵地という部分で県や町の指定になっており、伐採の計画はないが、今後検討していく。

問 以前から住民が急傾斜地の倒木の危険性を訴えており、2年ほど前の町長答弁では、協議の場を設けるとあったが。

答 町長

順調に進んでおらず、再度各課に指導していきたい。

障がい者住宅の確保と 町営住宅の浴室整備について

問 空き町営住宅を障がい者に特化した特定目的住宅として設置する考えは。

答 町長

現在、障がい者に特化した住宅は設置していない。担当課の方で、障害を取り除くための補助事業を作っているのでも、それを利用すれば、特定目的住宅でなくても大丈夫と認識している。

問 中川原・高城住宅は築年数が50年以上経過しており、浴室も当時のままの作りで浴槽が深い為、高齢者にとっては危険性が感じられるが改善の考えは。

答 建設水道課長

関係課と協議、連携を強化しながら各事業の周知徹底と個別に対応できるようにしたい。

※スマートシュリンクとは

人口減少を前提に、公共サービスや都市機能を効率化し、住民の生活の質を維持・向上させるまちづくりの考え方(賢い縮小)



高齢者が生きがいを感じ、生活費を稼げる体制づくりが必要では。

答

生活支援し、健康増進・介護予防につながる手立てをうっていく。

生きがいと健康寿命を高める施策

問 物価上昇している今、年金暮らしの人の生活は厳しい状況である。要介護認定の低下の為に、元気な高齢者が目標を持ち、生きがいを感じ、生活費を少しでも稼げる体制が必要ではないか。

答 町長

行政としては生活支援しながら、高齢者の健康増進、介護予防に寄与する事は大事と思うのでいろいろ手立てを打っていく。

答 福祉共生課長

高齢者が生活費の増加などの影響を受けていることは町としても課題であると認識している。高齢者の方々が目標を持ち計画的な毎日を過ごせるよう社会参加や就労的活動を含めた多様な活躍の場づくりを推進していく。

問 元気な高齢者が生活できるよう有機・自然栽培による町民農園・家庭菜園の具現化・ネットワークの確立が急務ではないか。

答 町長

町民一人一人が生きがいと健康寿命を伸ばすとの思いで、施策に参加していただき取り組んでもらいたい。そういった意味でのネットワーク化に取り組んでいきたい。

新たな元気を作り出す町、地域で稼ぐ体制づくりの施策

問 地区で活躍人材の育成、関係人口を増やし、環境整備を行っていくとあるが、何をどのようにしていくのか。

答 町長

今、中之又地区を一般財団法人ふるさと財団と再生事業に取り組んでいる。いろいろな課題があるので一つ一つ解決し、それを参考にして木城町全体に広げていく。

災害から住民・財産・暮らしを守る為、安心して暮らせる町を維持する為、防災・減災・老朽化対策に取り組んでいく施策

問 避難のタイミングが分からないのが地震時である。一般住民に、今できること家具の固定、外へ逃げるルートのシュミレーションを検討してもらおう。その確認を各地区にやってもらったら、地区全体の防災意識を高められるのではないか。

答 総務財政課長

配布している総合防災マップに全ての災害を想定した備え、事前準備が明記されている。避難のシュミレーションはマイタイムラインを作成することでできる。地域住民が協力して、地域防災活動の構築まで、自発的に取り組む事を期待している。

町のイメージ戦略として遊びと学びを包摂した魅力探求プロジェクト事業に取り組み交流人口を増やしていく施策

問 この戦略で交流人口が増えて、大勢こられてもウエルカムする町の受け皿がない。お金を落とす場所、商業施設もない。全体の町づくりをどうやっていくのか。

答 町長

フューチャーデザイン(未来人になったつもりで、今何をすべきかを考える)により、子どもから大人までの意見を聞き、市場調査の分析も行い、スマートシンク*の考えも取り入れて、身の丈に合った施設、小さくてもキラリと光るまちづくりに取り組んでいく。

■行政は本来であれば伴走車である。地域を巻き込んだ町民の挑戦する意識を盛り上げていく、民間活力を引き出す今後の行政の運営に期待したい。

議会活動報告

3月

- 6日~17日 第1回木城町議会定例会 (全議員)
- 13日 第3回木城町立みどりの杜木城学園卒業式 (議長、副議長、産文委員長)
- 14日 めばえ保育園卒園式 (議長、産文委員)
どんぐり保育園卒園式 (副議長、総務委員)
- 23日 木城町交通安全対策協議会 (議長)
- 26日 竹鳩橋等整備促進期成同盟会 (議長)
- 27日 木城町消防団辞令交付式 (議長)
木城町消防団新部長激励会 (議長)
- 28日 木城町地域婦人連絡協議会総会 (議長)
- 30日 令和7年度転出等教職員離任式 (議長)

4月

- 1日 人事異動辞令交付式 (議長)
どんぐり保育園「第49回」入園式 (副議長、産文委員)
めばえ保育園「第13回」入園式 (議長、総務委員)
議会全員協議会 (全議員)
木城町多世代交流センター
「tocotoco (とことこ)」落成式 (議長)



- 議会広報編集特別委員会 (広報編集委員)
令和8年度転入教職員対面式 (議長)
- 5日 令和8年度木城町戦没者慰霊祭式典 (全議員)
- 6日 春の全国交通安全のつどい (議長)

- 8日 議会広報編集特別委員会 (広報編集委員)
- 10日 令和8年度第4回みどりの杜木城学園入学式 (議長、副議長、産文委員長)
木城町商工会女性部「第50回通常部員総会」 (議長)
- 13日 議会報酬及び定数検討特別委員会 (全議員)
議会広報編集特別委員会 (広報編集委員)
- 16日 令和8年度木城町さんさんクラブ連合会総会 (副議長)
- 21日 令和7年度第62回木城町身体障害者福祉協議会総会 (議長)
- 24日 令和8年度木城町行政事務連絡員会 (議長)
高鍋・木城衛生組合例月出納検査 (議選監査)
- 30日 第2回木城町議会臨時会 (全議員)
議会全員協議会 (全議員)

5月

- 8日 児湯郡(市)町村議会議長会総会 (議長)
- 11日 木城町ボランティア連絡協議会総会 (議長)
- 14日 児湯郡町村監査委員協議会臨時総会・研修会 (議選監査)
- 17日 木城町立みどりの杜木城学園運動会 (議長、副議長、産文委員長)
- 19日 木城町シルバー人材センター解散総会 (議長)
尾鈴地区農業水利総合開発事業促進協議会総会 (議長)
- 21日 議員報酬及び定数検討特別委員会 (全議員)
- 22日 木城町商工会「第65回通常総会」 (議長)
- 25日 東九州自動車道建設促進宮崎県央北部期成会総会 (議長)
九州中央自動車道建設促進期成会総会 (議長)
- 26日 ~ 27日 全国町村議会議長等研修会 (議長)



まちの話題



町内で新たに開業したお店を紹介します。

社 名

株式会社 神田木材

代 表：神田 智信

業 種：林業・機械整備・薪事業
(キャンプ・ストーブ用)

薪については災害時においての燃料として木城町と災害協定を締結しています。

所 在 地：宮崎県児湯郡木城町大字高城 3889

連 絡 先：080-6432-2607

F A X：0983-32-6390

M a i l：kandamokuzai@outlook.jp



事業を起こすまでの経緯

木城林産を初めに 10 年間に渡り林業経営や技術を学び独立しました。林業の魅力は身体を動かして汗をかくことです。代表自ら現場にも足を運んで作業します。

これから果す役割

林業は危険で厳しい仕事ですが、若い人たちに興味をもってもらえるように林業を発信していきたいです。

議会傍聴をしてみませんか！



次の議会定例会は**9月**です。

定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局までお尋ねください。

TEL 0983-32-2213 (直通)

委 員	委 員	副委員長	委員長	編集委員
甲斐	桑原	中武	矢野	
政治	勝広	良雄	哲也	

木城町ホームページに議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、会議録などをご覧ください。
令和6年12月議会(定例会)から本会議の3日間のみ(初日、一般質問、最終日)録画配信をしています。

(URL) <https://www.town.kijo.lg.jp>



木城町 HP



木城町議会 HP

議会傍聴メーター

2025年4月以降の議会傍聴に来られた人数です。

059